

世界で一番すばらしい(ベスト)仕事

コロサイ人への手紙 3章17節

“あなたがたのすることは、ことばによると行ないによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。”

はじめに:

6ヶ月間、美しい南国の島でリラックスしながら高収入を稼ぎましょう！

オーストラリア政府は、“世界で一番すばらしい(ベスト)仕事”としてこのキャッチフレーズを世界中にむけて発信しました。この仕事をするると120,000ドル(1200万円)の収入となります。それに加えて、このポジションをうち勝った成功者のホームカントリーからオーストラリアまでの往復航空券も得点に含まれています。勝者はハミルトンアイランドの南国の光をあび、さんご礁の海を、スノーケルをして楽しみ、ときにはプールを掃除しなくてははいけないくらいでしょうか？毎週、世界中のインターネットの閲覧者にむけて、ブログを写真つきの日記でアップデートするという責任の仕事をはたさなくてはなりません。もっと多くの旅行者をこの島に呼び集めるためにレポートも書かなくてはなりませんが、このポジションを勝ち取った人は何億ドルという高級ホーム、寝室が三つもついていて、しかもビーチ浴いの場所に無料で住むこともできるのです。34歳のイギリス出身のベンさんが3万五千倍

の倍率をうち勝ち、この職につきました。

ベンさんは、この世界で一番すばらしい仕事の任務の最後の週、へたをすると命を落としかねない猛毒をもったくらげに刺されてしまったのです。この毒くらげはピーナツほどのサイズで、水中に張ってある安全ネットの網をも、ちょうどすりぬけてしまうほどの大きさなので、被害を事前に察知するということが不可能です。彼は、このくらげに刺されたとき、ちょうどジェットスキーを下りようとしていたのです。腕に蜂にさされたときのような感触を覚えました。症状として、発熱、頭痛、腰の痛み、胸がしめつけられるような胸苦しき、次第に血圧も上がってきました。この他に、筋肉と胸にくる激痛、吐き気、イライラと不安にさいなまれることもあるそうです。最悪の場合は、この毒くらげに刺されると心臓麻痺で命を落とすこともあるらしいのです。ともかくベンさんは鎮痛剤をもらい、毒は寝ている間に消えました。世界で一番すばらしい仕事にも危険はあるのです。

島に優雅に住んでできる仕事に恵まれたことのある人は、私たちの中にそう何人もいません。しかし仕事のストレスからくる頭痛、胸がしめつけられる思い、高血圧、イライラや不安を経験したことのある人は、たとえ、くらげに刺されなくても、私た

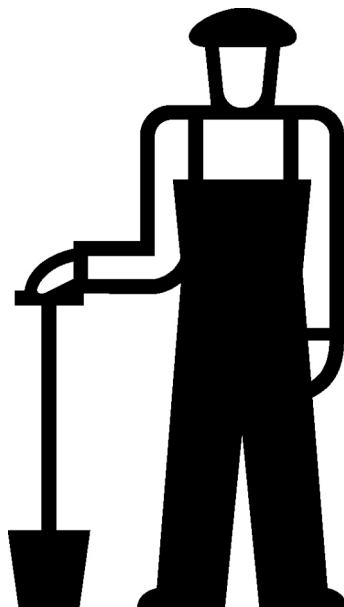
ちの中に沢山いるのではないのでしょうか？

寒い早朝、目覚まし時計のベルが鳴り、暖かい布団からぬけでなくてはなりません。なにが私たちを暖かい布団から抜け出してまで、会社もしくは職場にいくために身支度をさせるのでしょうか？毎週月曜日にまたいつものように仕事場にむかわせる気力と気合はどこからくるのでしょうか？なぜ仕事をするのでしょうか？

聖書は、なぜ私たちは仕事をするのか？ということ、多く勇気つけながら語ってくれています。これは、たとえあなたと私が世界で一番すばらしい職についていないとしてもです。もしかしたらそういう人もいるかもしれませんがね。

仕事は神からの重要なもの(価値)

仕事はよいことです。ある人々は仕事自体、人間が神に従わずに反抗したために生まれた罪の結果だと思っています。神は人間を仕事というかたちで呪ったといっています。しかし、神は人間に働くということを、人間が神に罪を犯す以前からすでに与えていたのです。アダムとイ



ブが神に反抗する以前、神はアダムをエデンの園におかれ、その庭を管理させ守らせました(創世記2章15節)。この例からもわかるように、仕事はよいことで、仕事をもつことは、決して神からの呪いなんかではありません。

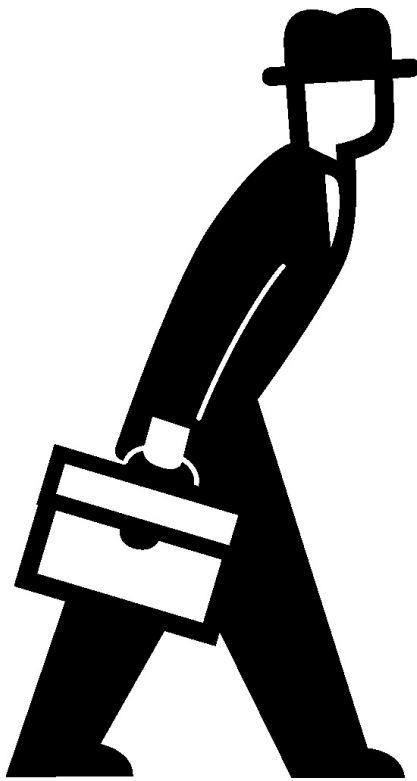
人間が罪をおかしたあと、人は働くことについて反抗的になりました。人間の不従順の結果、苦労や不平不満などが仕事には、つきまとうようになりました。人間の仕事に関しての視点もかわり、仕事を神の栄光の為にするのではなく、人間は自分の仕事をする手を通して、自分自身に栄光をもとめるようになりました。(例えば、バベルの塔を建てるといったような大きなプロジェクトです。)

あなた方が仕事自体を呪いととらえるならば、あなたは仕事を避け、他の人の仕事さえも尊敬しなくなるでしょう。もし、仕事が呪いならば、怠けることが反対に賞賛すべきことではないでしょうか。すでに従業員の定員がいっぱいになっている会社に、雇用採用を求めて応募した人についての記事を読みました。人事部のマネージャーは、すでに人が足りているという理由で採用希望者を拒否しました。しかし彼は、人事部のマネージャーにこう答えました。“心配しないでください。私が雇われたとしても、私の仕事はちっぽけなものですから

誰にもきづかれませんが、”といて引き続き、雇用するように求めたというのです。

もし、個々の人々が“私が働かなくても、神は私の必要なものを与えてくれるでしょう”といて、働くのを拒否し、社会福祉に頼って生活することを主張するとしましょう。聖書はそのような人たちに、きちんとした仕事をもつようにと声援をおくっています。なぜなら、仕事をするということは、自分たち自身が経済的に自立できるだけでなく、他の人たちの必要さえも供給することが可能になるからです。(エペソ人への手紙4章28節、

第二テサロニケの手紙3章10節)



クリスチャンが仕事をする時、仕事の出来具合は最高のものを求めていきなさいと命ぜられています。(コロサイ人への手紙3章23節と第一テサロニケへの手紙4章11節)聖書は、仕事に関し

て語る時、休息との二つの逆説的な考えをもっているため、その二つのバランスが大切になってきます。多分、日本では、働きすぎや仕事中毒には気をつけなくてははいけません。休息はとても大切なことです。責任感のある仕事や、職場で忠実な働き手となるためには、休息をとるときでさえも神を信頼する

信仰がなくてななりません。私たちが仕事と休息の両方で神をたたえるということは、神も私たちの必要をきくと与えてくれることでしょう。仕事をするときも、私たちは神を崇めます。私たちが休息をとることは神への従順と信頼の表現です。聖書は創世記の2章1節から3節で、天と地、そして人間を創造された後、神が七日目に休息をとられたという記述があります。神ご自身は、いつも聖であり、万能であるので休息は必要ではなかったはずですが、この休息は意図的にとられたこととなります。この神が休息をとられたというのは、私たち人間のことをおもわれ、模範となるためだったのです。

マタイ書の6章25節から34節は、私たちは仕事を通して糧を得ますが、最終的には神御自身が私たちの必要を満たされるお方であるとはっきり語っています。これらの箇所では、私たちに必要なものを神が知っておられるので心配しないように私たちに励ましています。33節“神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。”という文でしめられています。これは私たちに働かないようにしているのではありません。

クリスチャンにとって、なぜ朝起きて職場に向かうのかという根本的な理由は、仕事とはただ生活の糧を得るためだけのものではなく、神につかえるためなのです。たとえどんな環境の職場に私たちがおかれようと、そこでイエスのかわりになり、神に仕えていくためなのです。

仕事は神からの召し (招待)

神は贖われたすべての人たちに一般的な召しをお持ちです。最初は救い、神との正しい関係を築くことから始まり、次に神をおそれ崇める男や女となっていくこと。神の働き手となること。神の国と神の義を、まず第一に求めていくということ。クリスチャンの生活を築いていくことが、一般的な召しです。それに加え、神はイエス・キリストに従う者たちのために特別な召しをお持ちです。その人たちを通して神のみ国が、成されていくための職場をご用意されているのです。一般的な救いの召しを**ライフ**(命のある人生)とよび、それぞれの人に与えられた特別な召しを**ワーク**(仕事)と呼びます。両方あわせて、それぞれの人にあたえられた**ライフワーク**(仕事を通しての命ある人生)です。

ダローミラー著**ライフワーク**:職業の聖書的神学的解釈の構築から

一度は、ある職種に魅力を感じ、それをしてみましたが、仕事に方向性が見い出せず、やりがいを感じられなくなったりすると、不満がつらくなり、がっかりします。職場のモチベーションが低く、やりがいを感じることができないかもしれません。仕事というのは大抵の場合、大きな目的を達成するために満たされたものであるとうよ



りは、サバイバル、生き残りです。不正な就業規則、悪い上司、機能的ではない仕事の過程、同僚あるいは上司との乏しいコミュニケーション、就業時間を時計ばかりながめて穴埋めするような消極的な態度への誘惑、ほかにもたくさんの問題が散在し、私たちの仕事に対しての意味ややりがいを奪ってしまうことがあります。

神は私たち何人かを社会的に重要なポスト(役割)へと導かれます。しかし、多くの人たちは、彼らがしているそれぞれの仕事を通して神に栄光を帰すように召されています。クリスチャンにとって一番大切なことは、職業ではなく、“人”(イエス)なのです。私たちは何をすることも、キリストに従い、キリストに仕えることが一番大切なことなのです。

私がこの説教を書いている最中でも、私の息子は二つの仕事を掛け持ちで働いています。彼のもっている両方の仕事は、彼が一生続けていきたいものではありません。しかし、これらの仕事は、彼に十分な給料と健康保険のような社会保障を供給してくれます。彼は、これらの仕事のおかげで自分自身をサポート

し、学校の勉強も続けていくことができるのです。私の息子の職場環境も先にお話した、悪い要素を含んでいます。にもかかわらず、彼が仕事の話をするとき、ただお金を稼ぐということだけに視点をおくというよりは、むしろもっと違ったみかたをしているということに勇気づけられました。

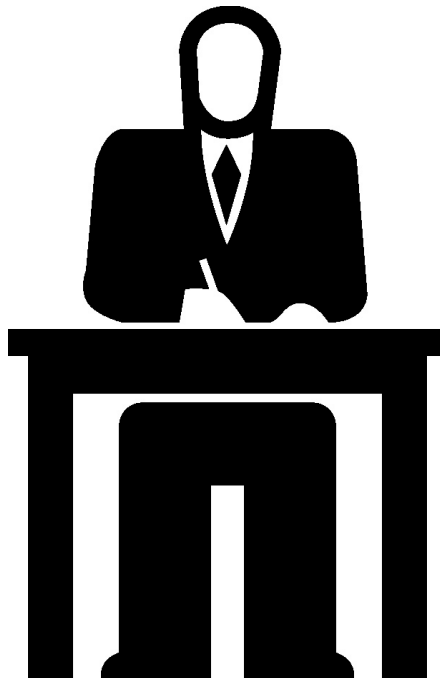
神は、私の息子にも、彼の現在の状況にあった目的とご計画をおもちです。これは、将来、彼が仕事を変えることは、いけないことであるといっているの

ではありません。彼は、神に今の仕事をしていくための知恵と将来の方向性を示してくれるように祈りつつ、彼を通してキリストが、現在の職場のほかの同僚たちに示されるようにと祈っています。これは簡単なことではなく、難しいことです。ときには、とても

がっかりする事もあるでしょう。しかし、神は彼の心のなかで働いておられ、彼が人生の意味と目的をつかみとるように導いておられるということなのです。これは今の彼の仕事を毎日ただ漠然とこなしているのとは意味が違います。

仕事は神への奉仕

人間は常に自分自身の真価と生きている目的を探しています。時々、芸能人のインタビューを読むことがあります。彼らは



自分の好きなことをして、しかも給料までもらっていることは信じられないことだと言っています。それは他者の目から見ても明白です。彼らは自分のしていることに情熱を感じ、才能にも恵まれ、自分たちの生まれ持った才能の限界まで出し切ることのできる仕事に携わっているからです。しかし残念なことに、創られた映画がはやらず、評論家からの評判も悪かったりすると、自分の仕事に対する情熱をいきいきと語っていた先の芸能人が薬や酒の中毒となり、リハビリセンターへ入院することが公のニュースとなったりします。この気持ちは私たちが有名人でなくてもわかります。どんな職業の人にもこの気持ちはわかるはずです。もし人は自分の価値が仕事からくるものだと信じるなら、仕事をなくしたとき、生きていく理由もなくしてしまいます。

私たちの存在価値は、どんな仕事をしているか、どんな珍しい才能に恵まれているかでなく、神様の家族の一員となり、その神様と自分との関係なのです。個人の存在価値とは、その個人、一人ひとりと神様との関係に見られるのです。神様がこの世で成されようとしている仕事は、多くの異なった種類の人間と沢山の違った種類の能力が必要なのです。

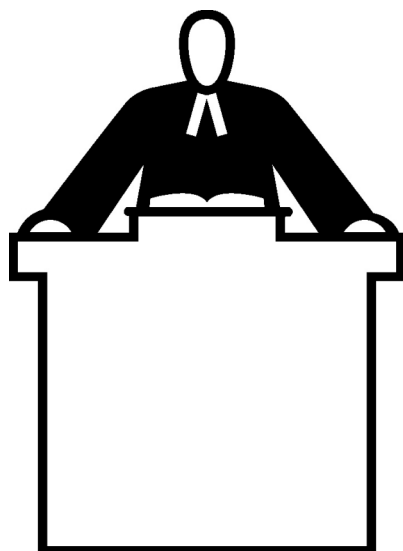
神を信じる者たちにとって、ライフワークが、トラックの運転手であ



ろうと、宣教師であろうと、主婦であろうと、博士であろうと、その仕事が神様に対して成されるとき、価値があるのです。仕事自体が主イエス・キリストの導きによって成されるとき、それ以上に価値のある仕事はほかに存在しなくなります。ピアノや数学を勉強した女性が、今は一歳になる子供の食事の支度をしたり、トイレトレーニングをしていたとしても、神が彼女に

対してのベストを欠いていることにはならないのです。現在彼女がしていることは、過去に学んだピアノや数学は使われていませんが、イエス・キリストに従うものとして、神のみ手に、彼女自身のすべて

を信頼し任せることができるのです。神は御自身のベストを彼女に愛情深く与えると同時に、彼女の仕事を通して彼女を御自分のために用いられるのです。



結論

あなたは世界で一番いい(ベ

スト)仕事をお持ちですか？毒くらの話はべつとして、この質問に“はい”と答えるために南の島のパラダイスまでわざわざ出かけて行って住まなくてもいいのです。神は積極的に私たちの周りで働いています。神はあなたと、真実で個人的な愛の関係をつくり続けられています。神はあなたをご自分の仕事に関わらせようとされて招待しています。あなたにとって世界で一番すばらしい仕事とは、あなたの人生で神のみ旨を行うこと、神のご意思の中心にいます。神は聖書、祈り、私たちの周りの状況と教会などをお使いになり、私たちに語られ

ます。こうしてご自身を表し、神の目的や、やり方を教えてください。

世界で一番す

ばらし仕事、たった一つのその仕事は、実際には存在しません。どんな場合も、それぞれ仕事は、その仕事をしている人によってちがいますし、仕事の責任もそれぞれ違ってきます。この世のすべての言葉、民族、国々は神様が用意されたベスト、神の召しを体験しています。神はキリストへの信仰を通して神御自身との愛の関係へと私たちを誘っています。

キリストに従うものとして、私たちの行いと言葉のすべてを通

して、共通の糸のようなものがとおっています。

それは、
どんなに困難なときも
つまらないと
きも、
成功し賛美
するときも

人がみてい
ないときも、

私たちが言
葉と行いでど
んなことをす
るときも、す
べてのことを、
主イエスの名
によってなし、
主によって父なる神に感謝す
るということです。

そのとき、あなたはキリストとともに
神のみ胸の中心にたち、
神に感謝をささげつつ、
私たちは自信と信頼をもつこと
ができます。
そのとき、
こうして
世界で一番すばらしい仕事が
私たちのものになるのです。

祈りましょう。

主なるイエス様、
あなたの愛情深さと、誠実さを
ありがとうございます。

あなたはあなたの子供たちの
人生を導かれ、必要なものを供
給してくれます。

私たちは仕事について困惑を
体験します。

仕事のプレッシャーが大きいと
きは、私たちを御自分に導いて
ください。

あなたから休息と安心があたえ
られます。

私たちが“こ
んなに一生
懸命、何のた
めに働いて
いるのか？”
と疑問におも
うとき、どうか
私たちの心
に直接お話
してください。

私たちそれ
ぞれがどん
な仕事をして

いようとも、主イエスキリストを私
たちの仕事の中心におくこと
によって、力をください。

そうして、感謝をあなたに捧げ
ることができますように。

私たちが、粘り強く、動じること
なく、いつも主のお仕事に関わ
ることができ、私た
ちの日常の仕事が
決して無駄なもの
ではないことを私た
ちにわからせてくだ
さい。

オフィスで働こうと、
違う現場で働こうと、
主婦であろうと職業
婦人であろうと、

私たちの手が水
で皿を洗おうと、
私たちの手が水
で信徒に受洗を
授けようと、

言葉と行いによって、すべて
のことを主イエスの御名によっ
て、父なる神に感謝をささげる
ことができますように、私たちを
強めてください。

主イエスの名前によって祈りま
す

アーメン

